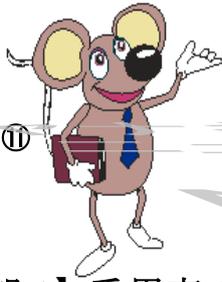


コヤナキ`BIP ニュース

発行 小柳商事株式会社
TEL 03-3739-1111
平成 25 年 11 月 吉日

2013 ⑪



No.94



【情報 1】乗用車の平均車齢、初めて 8 年を超す

自動車検査登録情報協会（自検協）のまとめた「平成 25 年版 わが国の自動車保有動向」によると、2013 年 3 月末における自動車保有台数は前年より 512,619 台多い 79,625,203 台（対前年比 100.65%）。乗用車をみると、登録車は前年より 134,091 台少なく、軽自動車は 761,971 台多くなっており、軽自動車が保有台数増加のけん引役を担っている。

乗用車の平均車齢は前年から 0.12 年延びて 8.07 年となり、初めて 8 年台に突入した。普通乗用車では 2010 年にスクラップインセンティブの影響で一時的な若返りも見られたが、その後 3 年連続で最高齢を更新。前年より 0.07 年長い 7.79 年となった。小型乗用車は 8.28 年で 0.16 年延びており、21 年連続して最高齢を更新している。

軽自動車を除く乗用車の塗色別保有台数では、白、灰、黒の 3 色で 8 割以上を占めている。10 年前と構成比で比較すると、青と緑が減少し、黒が増加している。黒の構成比は普通乗用車で 15.77%（対 2003 年比 7.03%増）、小型乗用車で 9.43%（同 2.74%増）と全体的に伸長。また、普通乗用車は 2003 年に比べて保有台数を約 186 万台増加させているのに対し、小型乗用車は軽自動車に市場を奪われる格好で約 451 万台減らしている。高級車種も含まれる普通乗用車の方が黒のボデーカラーの比率が高くなる傾向にあるため、乗用車全体に占める小型乗用車の割合が減ったことも、黒の構成比を上昇させた。

【情報 2】アクサルタ、デュポンリフィニッシュに代わる



新ブランド「クロマックス」を発表

アクサルタコーティングシステムズ（紙谷忠幸社長、本社=東京都港区）は 10 月 28 日、自動車補修用塗装システムのブランドである「デュポンリフィニッシュ」に代わる新たなブランド名として、「クロマックス」を発表した。

「クロマックス」は同社製品名としてすでに存在していたが、今後は製品全体を示すブランドとなる。「クロマックス」ブランドは、「デュポンリフィニッシュ」を構成していたセンタリやクロマックスプロなどの製品シリーズを引き継ぎ、配合データもこれまでと同様となる。新たなブランドロゴは風に向かってはためく旗を表しており、絶えず前進を続けようとするブランドの精神、「デュポンリフィニッシュ」の製品を継承し、それ以上の製品を今後も追求・提供し続けるという同社の姿勢を示しているという。

「クロマックス」の新しい製品デザインは 2014 年に登場する予定。

【変り種商品情報・ソフト 99】 防汚ハードコーティング 8H 油性

外壁用の防汚コーティング剤として、汚れを寄せ付けない驚異の性能を長期間発揮します。

磁器タイルやモルタル、コンクリートなどの無機系多孔質剤に施工することで、親水性の防汚層を、施工表面だけにとどまらず施工面内部までしっかりと形成し、雨水は外壁内部への進入を防ぎ汚れは雨と一緒に洗い流されますので、表面の美観が維持できます。緻密で非常に固い被膜（表面硬度 8 H 相当）を形成しますので、長期間にわたって性能を発揮します。無機系コーティングのため、光・熱・水などによるコーティング表面の劣化がほとんどなく、浸透性のため外観が変わらず、蒸気透過性があります。



【情報・東京オートサロン】開催期間…1月10日～12日の3日間

来年1月開催される日本最大のカスタムカーの祭典「東京オートサロン 2014withNAPAC」に、**乗用車メーカー全 8 社が参加**することがわかった。8社が一堂に会するのはオートサロン史上初めて。三菱自動車が6年ぶり、ダイハツ工業が5年ぶりに参加する。また、商用車メーカーでは日野自動車が3年連続、輸入車インポーターではルノー・ジャポンが昨年に引き続き参加するほか、**メルセデス・ベンツ日本(MBJ)が初めて出展**する。

東京オートサロンはカスタムカー文化の確立を目指し、1983年に「東京エキサイティングカーショー」として始まった。1987年に名称を東京オートサロンに変更。次回で32回目を迎える。今回は幕張メッセの全館を使用する初めての開催となり、来場者数も30万人以上を見込んでいる。

【新商品・日本ペイント】「nax パテ チヂマンシリーズ」発売

特徴 1. 低収縮型・エチルベンゼンフリー

高張力鋼板採用率増加や改正労働安全衛生法における特定化学物質指定に対応

2. 幅広い番手をラインナップ

カーボンファイバーを配合した厚付けタイプから仕上げに最適な細地タイプ

3. 高張力鋼板に対応したパテシリーズ

《創業初期(明治時代)の塗料缶》⇒《塗料缶をリファイン》 《チヂマンラインナップ》



各 春秋用/夏用/冬用

カーボン 60 2kg

80 厚付け 3kg

120 中間 3kg

180 細地 3kg

※使用硬化剤

nax パテ クルツハードー80g

比率はパテベースに対して 2~3%

※詳しい内容は各担当へお願いします